

活動日	時間	天候	記録者
2019年6月13日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2019年6月26日(水)	9:30~12:00	(晴)	

参加者氏名 (14+14名)	(6月13日) 磯野彰夫、菅田忠志、塩ノ谷年子、橋野美子、清水英輔、佐藤泰仙、 依 貴志子、米倉 進、中西 優、松本治美、山田喜義、若尾孝子、 伊牟田雅子、水島康夫 (6月26日) 磯野彰夫、菅田忠志、塩ノ谷年子、橋野美子、清水英輔、田路義弘、 松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進、若尾孝子、中原一子、 小林澄夫、中西 優
-------------------	--

今月実施した 作業内容	1. 林内作業道の内、野草の繁茂が目立つ部分の刈込み整備 2. 下部のカブトムシ幼虫生育木枠の天井金網木枠の作成・取り付け 3. 一段上部にある昨年の産卵場所の腐葉土入れ替え 4. 昨年の台風被害で中折れしていたコナラの枝撤去作業 5. 仮伏せしておいたシイタケホダ木の立掛け作業
----------------	--

6月13日



この時期、野草の成長の早いこと。林内の散策道・作業道脇の野草に隠れてしまいそうなところもあり、この日は女性メンバーに剪定ばさみや鎌を手にとり点検しながら一回りしてもらった。



周囲は年中必要なイノシシ除けの金網。天井部が成虫後の飛び去り防止の金網。

カブトムシの幼虫も、今は蛹室をつくりサナギ状態になっているものと思われる。7月に入ればそろそろ成虫に羽化してくる頃なので、周囲天井部の金網木枠での覆いが欠かせない。



ここは入口から一段上がったところの生育場所。昨年4月に古い腐葉土が雑菌におかされていたので撤去し、更地で日光消毒させていた場所に、新しいチップの腐葉土を運び込む。先月5月に子どもたちと一緒に作った林内の産卵場所同様、この夏の成虫が産卵してくれる予定。



6月26日



昨年の台風時に高枝部分で大きく避けていたコナラの枝、その後枯損木となつて折れてぶら下がり状態に。先日の里山グループ活動時につづいて作業。なんとかワイヤーでの牽引で引き離すことができた。



太い部分はチェーンソーを使用しての玉切り作業。小枝は何度か往復して外へ運び出し、チップパー処理を終えた。



2月に植菌し、仮伏せしておいたシイタケホダ木。梅雨入りを前に覆いを取り正規の立掛けに置き換えた。



花実の森の主役たちも順次規則正しくバトンタッチをしていきます。つい先日まで楽しませてくれたササユリも、6月26日の活動日には姿なし。代わってオカトラノオがもうすぐ満開を迎えます。

ササユリ(笹百合):ユリ科ユリ属の多年草
その名の通り笹の葉とそっくり。
花が見つからないと笹との見分けが難しい。
葉の表面がつるつとしてるのがササユリ、
ザラザラと引っかかるのが笹。
大雑把な説明でした。

オカトラノオ(丘虎の尾):サクラソウ科オカトラノオ属の多年草。
名前のゆかりは、虎の尾っぽに似たところから。この花に限らず、昆虫や野鳥などにも楽しい名前を多く見る。楽しい名前を付ける学者先生たちってどんな性格の人たち？